

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2016-2017 Rotary International District 2560



国際ロータリー第 2560 地区 2016-2017 年度

ガバナー月信

2017.05.01

Vol. **11**

CONTENTS

ガバナーメッセージ	1	新入会員紹介・訃報	7
ローターアクト地区大会 報告	2	会員数および出席報告	8
米山カウンセラー研修会 報告	3	コーディネーターNEWS	9
インターアクト台湾受入れ事業 報告	4	ハイライトよねやま	10
ロータリー財団委員会 報告	5	米山梅吉記念館便り・ロータリー文庫通信	12
三条 RC 創立 60 周年記念式典	6		

2016-17 年度 ガバナー 田中 政春

田中ガバナー事務所 〒940-2108 長岡市千秋 1-253-3 ベルダンビル 1F

TEL : 0258-86-6236 FAX : 0258-86-7068 E-mail : m.tanaka@rid2560niigata.jp

年輪を刻む

国際ロータリー第2560地区
2016 - 17 年度 ガバナー
田中 政春（長岡西 RC）



桜の季節から「野にも山にも若葉が茂る」頃、新緑の季節を向かえ、皆さまいかがお過ごしでしょうか。新しい生命力に満ちたたくさんの草花や樹々の若葉から、自然とからだの中に英気があふれるような気分になるのは、私だけでしょうか。

さて、今月5月は「青少年奉仕月間」です。当地区では今年度、高橋正明青少年奉仕委員長のもとで、ライラ、インターアクト、ローターアクト、青少年交換の各プログラムを7月から6月まで年度を通じて実に活発に取り組んでいます。高橋委員長の言う「友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識をもち、人びとの絆を育み、キャリアを築き、他では味わえない貴重な体験をすること」が各プログラムの基本です。各委員長間で良い連携を図り、活動しているといつも感心しています。今後とも、青少年奉仕活動に対する各クラブの皆さまからのご支援とご協力をお願いします。

既刊の「ロータリーの友」3月号と4月号にも「過去から今、そして未来へ」を題して、インターアクター、ローターアクターの紹介がされていました。当地区のインターアクト年次大会も4月号に紹介されていました。わが国では、インターアクトクラブ（IAC）が1963年6月に仙台育英 IAC として、ローターアクトクラブ（RAC）が1968年6月に川越 RAC として結成され、それぞれ約50年、約40年の歴史があります。昔と今の活動写真から、時代や取り組み内容の移り変わりを感じる一方で、昔も今も青少年たちの真剣な眼差しや屈託のない笑顔は、時代を経ても変わらないことが感じます。

次世代、未来を担う青少年に奉仕の機会を与え、その本質や喜びを身をもって経験し、そして多くの交流の場を提供し育成することは、樹々が成長し年輪を刻むように、成長期の青少年には大切なことであるはずです。彼らが人間としての年輪を刻み、いずれロータリーの樹の太い幹となることを楽しみにしたいと思います。

私自身のガバナーの任期もあと2ヶ月足らずとなりました。皆さまからのお力添えのおかげで、ロータリアンとして大きな年輪を刻めそうです。風薫る爽やかな時節、皆さまどうぞお健やかに過ごしてください。

ローターアクト第47回地区大会開催

国際ロータリー第2560地区

ローターアクト委員長 吉井 直樹(三条 RC)

平成29年3月25日(土) 三条市のジオ・ワールド ビップにて第47回ローターアクト地区大会が開催されました。

国定三条市長、田中ガバナー、高橋地区青少年委員長、開催地ロータリー川瀬会長、新保ガバナーエレクトをはじめ地区役員の皆様、各地ロータリアンの皆様とともに、総勢ロータリアン39名、北海道から大阪まで友好地区のアクトメンバー56名、OB,OG11名、そして地区ローターアクトメンバー58名、計164名の出席のもと大変有意義な時間を過ごすことができました。最初に驚いたのが第2560地区以外のアクトも積極的に活動し、互いに交流をもち友好を深めている事でした。地区、クラブの情報交換や奉仕活動の報告を通じ、切磋琢磨している様子がうかがえ、活動範囲の広さを再認識いたしました。

式典では昨年のアクト活動への表彰や地区役員へ御感謝状贈呈後、次年度代表を白根ローターアクトクラブの小日向君に決定いたしました。既婚者ですが、奥様も元アクトメンバーとのことで、後方支援も得られると思いますのでいっそうの活躍を期待しています。

続いてのクラブ活動報告にて各クラブより発表され、それぞれ工夫を凝らした発表の仕方で活動報告がなされていました。勿論、奉仕の実践の形式は様々ですが、お互いの活動内容に共感し、勉強し、そして次へのヒントを見つけあっていました。次年度は益々工夫を凝らした奉仕活動が実践されることでしょう。

記念プログラムはここ数年続いた基調講演ではなく、ゲーム形式を取り入れたワークショップにて学ぶ新しい形で行われました。アクトメンバーのみならずロータリアンも積極的に、また、楽しく参加して、全員参加型のプログラムとして成立されていました。会場全体の雰囲気も式典の厳粛な雰囲気から和やかな感じへと変わり、次の懇親会への流れにスムーズに移行できたのではないのでしょうか。

懇親会はアクトのパワー全開です。余興の47回大会に掛けた47秒チャレンジでは各クラブの楽しいアイディアで会場を盛り上げ、交流、懇親に花を添えていました。地区ターゲット「AGGRESSIVE」、大会テーマ「挑戦」を十分表現できた大会でした。

ローターアクト委員として数年ローターアクトのメンバーと接し、アクト歴の本当に少ないメンバーでも地区やクラブの中心となり活動している姿に感動するとともに若人の成長の速さとアクト活動の有効性を感じています。ロータリアンの皆様、ぜひ一度アクト活動を覗いてみてください。そして、そっと手を差し伸べてください。きっと奉仕の実践者として大きく育つ姿を見ることができると思います。

最後に地区大会の企画運営をした川越代表、今井実行委員長ならびに実行委員、関わった全てアクトメンバーに敬意を表します。また、ご参加いただいたロータリアンの皆様ありがとうございました。



米山カウンセラー研修会のご報告

国際ロータリー第2560地区

米山記念奨学委員会

奨学生選考委員長 野崎 裕（新潟東 RC）

2016-2017 年度米山カウンセラー研修会が、平成 29 年 4 月 8 日（土）に新潟市のホテルオークラ新潟に於いて開催されました。

当日は、田中 政春ガバナー、新保 清久ガバナーエレクトのご列席をいただき、ご参加いただいた新たな世話クラブのカウンセラー 18 名は、田中ガバナー、新保ガバナーエレクトの挨拶、田中 米山奨学委員長の挨拶と続き研修会に入りました。

研修会では、私より「カウンセラー制度・役割」について、世話クラブ・カウンセラーの意義、奨学生の年間スケジュールまたはカウンセラーの具体的な注意点をご説明させていただきました。

続いて、二組の奨学生とカウンセラーによる体験発表をしていただきました。



奨学生 エルデネチョローン，エンフジャフランさん（世話クラブ：柏崎 RC）
 カウンセラー 品田 孝行さん（柏崎 RC）

奨学生 董 婷婷（トウ テイテイ）さん （世話クラブ：新発田城南 RC）
 カウンセラー 三宅 美智子さん（新発田城南 RC）

奨学生のお二人は、奨学生になって感じたこと、カウンセラー・世話クラブでのエピソードなどユーモアを交えながら発表していただき、またカウンセラーのお二人は、心から奨学生を気に留めてくださり、日本のお父さん・お母さん、また、ロータリーと日本を理解するうえで良きアドバイザーになってくださっていることが発表から伝わりました。

奨学生をお引き受けくださった世話クラブ、カウンセラーの皆様、たいへんありがとうございます。これからの一年間よろしくお願いいたします。



インタラクティブ台湾受入れ国際交流事業

国際ロータリー第2560地区

インタラクティブ奉仕委員長 清水 信博（高田東 RC）

去る2017年4月14日（金）～16日（日）の三日間、国際ロータリー第3490地区三重中央ロータリークラブの支援のもと台湾新北市私立清傳高級商業学校・市立三重高級中學の高校生が来日されました。その数、学生44名と学校関係者・ロータリアン21名計65名に上りました。近年にない大人数での来日で、日本への関心の高さや親日の強さを感じた次第です。

上越高等学校がホスト校として歓迎式典を挙行し、若々しい晴れやかな中にも、式典では厳粛な空気に包まれ進行いたしました。アトラクションとしてダンスや吹奏楽、野球応援パフォーマンスが披露され台湾学生にインパクトを与えたのではないのでしょうか。

その後、各クラブ活動の見学に時間を設けました。台湾の学校関係者は日本の高校のクラブ活動に興味があったようです。いろいろ質問が飛び交っていたようでした。

今回は、44名の台湾学生に対し上越市内の各団体に協力頂き26名のホストファミリーから受入れをお願いしました。台湾学生にとっては、思い思いの日本の家庭を味わうことができました、ホストファミリーは、第2の我が子ができたと海外の我が娘・息子と楽しい時間を過ごされた事でしょう。

この14日は、上越市高田観桜会の最高潮の日でした。私達ロータリアンと台湾ロータリアン、学校関係者との間で国際交流会を和やかに終了させその後、夜桜見物に出かけました。散り始める直前のなんと素晴らしい桜でしょうか。台湾メンバーからは素晴らしいとため息が出ていました。



翌15日（土）は例年ならば、さよならパーティーを開催しそのままお別れとなるのですが、内容を変更しました。2840地区（群馬）よりもインタラクティブが大勢やってくるのに3時間足らずで別れるのは忍びない、そんな思いもあり、昼食時にさよならパーティーを行いそのまま雪と戯れるため、妙高高原に向かいました。

短時間ではありますが雪遊びに大人も子供も大はしゃぎで楽しい思い出を作りました。



最後は、国立妙高青少年自然の家で最後の交流を楽しみ、翌16日無事に次の訪問地へ向かわれました。

インタラクティブでの日本訪問では最高の旅だったと何人ものメンバーや先生方よりお言葉を頂き感謝の念に堪えません。この成功は、地区役員をはじめ高田東 RC、ホストファミリー、そして上越高等学校関係者の皆さまによるものであります。関係するすべての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

グローバル補助金 GG1411458 「疾病予防と治療」 論文掲載のご報告

国際ロータリー第2560地区

ロータリー財団委員会

《ボリビア寄生虫論文掲載のご報告》

ロータリー財団「未来の夢計画」のスタート年度で当地区において、グローバル補助金 GG1411458 疾病予防と治療を取り組みました。

このプロジェクトは、新潟南 RC とチュキアゴマルカ RC（援助国・実施国提唱者）で新潟医療福祉大学協力のもと行われました。ボリビア多民族国、ラパス市郊外のリオアバフォ地区（海拔 3,800m）の幼稚園から高校までの一貫校に在籍している小児を対象に寄生虫感染実態調査及びその治療を目的として行い、グローバル補助金プロジェクト3年間の推移は2013年 65.4%から2015年 43.0%と有意に低下しました。

この取り組んだプロジェクトの成果と結果をボリビア小児の寄生虫感染率低下を目的とした横断的研究論文（同大学：医療技術学部 臨床技術学科 助教浅井孝夫さん執筆）が2016年12月6日に PLOS Neglected Tropical Diseases 誌にてウェブ出版されました。このような厳しい環境にある多くの地域住民の健康と公衆衛生の向上に寄与されることを願って報告いたします。



小児達に集団検便と集団駆虫薬の説明をするチュキアゴマルカ・ロータリアンとボランティアの方々

三条ロータリークラブ創立六十周年記念式典報告

国際ロータリー第2560地区

三条ロータリークラブ

会長 川瀬 康裕 (三条 RC)

さる4月15日三条市ジオ・ワールドビップにて創立六十周年記念式典を開催させていただきました。90分前から会員と夫人が並び、小雨降る中次々と到着されるお客様に、心を込めた拍手と握手でお迎えさせていただきました。

「地域と共に60年、愛と感謝を込めて世界につながるの輪を作しましょう」の標語のもと、地区内44クラブと、友好クラブの台湾・新竹城中クラブ、米山隆一県知事、國定勇人三条市長ほか、地域各界の皆様をお招きし総勢350名の参加をいただきました。田中政春ガバナー、新保清久ガバナーエレクトはじめ9人のパストガバナーのご参加をいただきましたことは誠に光栄でした。



点鐘、山田実行委員長の開式の辞に始まり、会員の「君が代」独唱、渋谷健一会員93歳59年在籍の表彰等と続きました。来賓祝辞として、知事は「ロータリーの皆さんの活動はシンクグローバル、アクトローカルを実践している。皆さんと力を合わせ、抛り良い県政を行いたい」と述べられました。三条市長からは「市の予算確保

の難しいところ植樹の提案を頂きありがたかった。子育て拠点施設あそぼつての図書・遊具も貴重な支援をいただいた」とお言葉をいただきました。商工会議所会頭は「三条クラブは4人の会頭を輩出し、地域経済との関係が深く、着実に歩まれ多方面に活躍していただきたい」とされました。田中政春ガバナーからは「特筆すべきは藤田説量さんという名ガバナーを育て上げたこと」とのお言葉をいただきました。最後に新竹城中クラブの林于倫会長からも挨拶をいただきました。

式典終了後のアトラクションは宝生流の祝言能「高砂」で、重要無形文化財総合指定保持者の能楽師、渡邊荀之助氏の能楽の歴史解説から始まりました。会員が会場内に製作した橋がかりと能舞台に地頭の他3人の地謡と能萱、小鼓、大鼓、太鼓の囃子でシテ川瀬隆士（私の三男）の神舞が披露され、臨場感のある舞台であったと参加者からお褒めの言葉をいただきました。式典終了後はスポンサークラブの長岡RCの佐藤様より乾杯のご挨拶をいただき祝賀会を開宴、ジャズの生演奏をバックに賑やかな懇親の場となりました。老若会員一丸となり、企画、運営、実働部隊で作り上げた式典でした。ご参加いただいた皆様に感謝申し上げて報告させていただきます。



新入会員 紹介 (敬称略)

RC 名	お名前	入会日	会社名
中 条	中 田 齊	2017.04.12	水澤化学工業(株)中条工場
新 潟 東	林 伸 哉	2017.04.07	丸文通商(株)新潟支店
新 潟 南	藤 田 英 樹	2017.03.29	社会保険労務士法人 ふじた事務所
新 潟 西	吉 原 幹 治	2017.03.02	エル・シー・エス(株)
新 潟 万 代	小 池 陽 一	2017.03.27	(株)アンドクリエイト
新 潟 万 代	伊 原 英 一	2017.03.27	ジェイサービス(株)
新 潟 万 代	佐 藤 信 久	2017.03.27	(株)千代田設備
新 潟 万 代	五十嵐 一 芳	2017.04.03	協立不動産(株)
長 岡	笹 口 紀 吉	2017.03.21	(株)ユアテック中越営業所
栃 尾	橋 本 英 俊	2017.04.01	善昌寺
長 岡 西	坂 内 隆 徳	2017.04.06	(株)良電社
長 岡 西	近 藤 賛	2017.04.06	(有) いつくしみ
十 日 町	村 山 広 幸	2017.04.06	(株)村山興業
十 日 町	若 山 茂 木	2017.04.06	日本生命保険(相)
小 千 谷	富 永 安 子	2017.04.06	日本生命保険相互会社
小 千 谷	小 菅 美 佳	2017.04.06	東京電力パワーグリッド(株)
津 南	原 亮 太	2017.04.03	日本生命保険相互会社 長岡支社津南営業部
直 江 津	相 澤 吉 久	2017.03.07	相村建設株式会社
直 江 津	須 賀 健 司	2017.03.26	日本生命保険相互会社長岡支社直江津営業部
直 江 津	新 川 潔	2017.04.01	国際石油開発帝石(株)国内エネルギー事業本部
高 田 東	市 村 雅 幸	2017.04.01	(株)上越タイムス社
高 田 東	梅 野 正 信	2017.04.01	上越教育大学

訃 報

雪国魚沼 RC 斎藤 隆景 様 3 月 31 日ご逝去

故人のご冥福をお祈りいたします...



第2560地区 2016-17年度 3月末 会員数および出席報告

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現在	3月末 会員数	うち女性	増減
第1分區(9クラブ)	／	84.61	371	365	35	-6
新発田	4	95.16	97	96	0	-1
村上	4	87.14	36	36	8	0
水原	5	79.31	25	26	0	1
中条	4	85.42	35	33	3	-2
新発田城南	4	86.49	40	39	4	-1
豊栄	4	84.25	27	27	3	0
新発田中央	4	78.14	48	47	5	-1
中条胎内	4	87.11	33	33	6	0
村上岩船	3	78.50	30	28	6	-2
第2分區(9クラブ)	／	80.41	440	454	20	14
新潟	4	86.39	92	96	0	4
新潟東	4	84.68	62	61	8	-1
新潟南	5	79.84	97	102	2	5
佐渡	5	80.00	7	7	0	0
新潟西	4	79.07	37	41	1	4
佐渡南	3	92.25	42	42	4	0
新潟北	3	60.32	42	43	0	1
新潟中央	4	78.00	25	25	0	0
新潟万代	3	83.17	36	37	5	1
第3分區(6クラブ)	／	70.28	131	126	8	-5
新津	4	72.23	19	18	0	-1
村松	4	86.35	10	11	0	1
五泉	4	78.13	18	17	3	-1
白根	5	72.68	42	41	3	-1
新津中央	4	75.90	31	28	1	-3
阿賀野川ライン	4	36.40	11	11	1	0
第4分區(11クラブ)	／	77.95	362	369	22	7
三条	4	86.82	55	57	0	2
燕	4	73.05	33	34	1	1
加茂	5	90.72	28	28	4	0
三条南	3	89.13	51	48	2	-3
分水	4	62.79	32	32	3	0
見附	4	74.00	20	20	1	0
吉田	4	85.30	32	33	2	1
三条北	4	81.82	65	66	3	1
巻	4	80.90	9	13	0	4
田上あじさい	4	60.70	6	7	1	1
三条東	3	72.22	31	31	5	0

R C	例 会 数	出 席 率	会 員 数			
			7月1日 現在	3月末 会員数	うち女性	増減
第5分區(7クラブ)	／	85.41	313	322	26	9
長岡	4	87.50	40	43	1	3
柏崎	5	77.01	42	45	0	3
長岡東	4	85.50	69	69	6	0
柏崎東	3	95.15	53	53	5	0
栃尾	4	78.48	21	21	0	0
長岡西	4	84.91	52	56	6	4
柏崎中央	4	89.32	36	35	8	-1
第6分區(6クラブ)	／	79.50	156	156	10	0
十日町	4	95.60	34	34	3	0
小千谷	5	70.33	40	38	3	-2
雪国魚沼	4	70.80	24	25	3	1
十日町北	4	88.73	23	24	0	1
津南	3	76.54	27	27	1	0
越後魚沼	3	75.00	8	8	0	0
第7分區(8クラブ)	／	75.59	324	320	27	-4
高田	4	96.79	61	65	0	4
直江津	4	75.19	51	49	3	-2
新井	5	64.24	32	30	3	-2
糸魚川	5	69.76	42	43	3	1
高田東	3	75.21	40	36	2	-4
糸魚川中央	4	75.15	36	33	0	-3
頸北	4	82.70	15	15	1	0
越後春日山	5	65.71	47	49	15	2

クラブ数	56	クラブ
7月1日 会員数	2,097	人
3月末 会員数	2,112	人
女性会員数	148	人
純増減会員数	15	人
当月平均出席率	79.36	%

Rotary Zones 1 & 2 & 3

コーディネーター NEWS

2017年5月号

発行：Zones 1 & 2 & 3
ロータリーコーディネーター
ロータリー公共イメージコーディネーター
今月号の担当 Zone 3 RPIC

■ 会員基盤向上に資する「ロータリー公共イメージ向上」について

さる3月27,28の両日東京で開催されたRI第1,2,3ゾーン会員基盤向上セミナーでは標記演題について各地の公共イメージコーディネーター関係者 数名がそれぞれの切り口から持論を大変熱く語られ、とても印象的で貴重な時間を過ごすことが出来た。RIはロータリー発展のため戦略計画を大々的に取り入れるよう推奨し、その束ねた3本の矢の内の一つである公共イメージ向上も特別に力を入れている。戦略計画の最終ゴールは何よりもクラブの発展、そして会員増強であり、その為のイメージ向上は必須であり、それを活かさねばならないと説いている。

112年前シカゴの街で4人の青年実業家が集まりロータリークラブを創立し、それが現在会員数120万人を超える世界的巨大組織に成長した。その要因はロータリーが常に内外への広報宣伝活動を効果的に継続して来たこと、そしてどの時代にでもロータリー会員自ら日頃の理念に沿った職業奉仕を行い、世界中の各クラブが長年実施して来た質の高い奉仕活動を地域が世界が認知して来たからではないか。ここで先日のセミナーでの発表を参考にしながら今後の広報展開を如何になすべきかを考えてみたい。

・地区レベルで、

地区はクラブにロータリーのイメージ向上に繋がる情報を提供すべきである。例えばクラブ奉仕活動への取材活動を地区が代わってマスコミに申し入れる、クラブセントラルから情報収集を奨励する、地区へのBox投稿依頼を強く勧めている。特にIT、中でも各種SNSを駆使した映像による積極的発表、投稿は若い世代に強くアピールするだろう。一例として、第2670地区前田直俊ガバナー監修によるアニメ「おしえてロータリー」は日本語、英語版があり、FB、YouTube、DVD等を通して誰でも鑑賞可能。これらは広く地域社会でロータリーの啓発活動や、ロータリークラブ新入会員の研修にも役立つすぐれた教材である。(第1図参照)

・クラブレベルで、

会員が汗を流し、地域のために良い事をした事実をマスコミが取材し、のちにマスメディアに載ることはとても立派な業績であり、ロータリーを社会に理解して貰える千載一遇のいい機会です。ここに第2690地区玉島RCと米子4RCの奉仕活動が新聞記事になった例を紹介する。なお、この記事は現在RIのBoxに収めてあります。各クラブでとても簡単に操作できるBoxを利用し、活用して下さい。(第2図・第3図参照)

・ロータリアン個人レベルで、

忘れてならないのは、会員各自が果たして来た長年の「くちコミ作戦と真摯な奉仕活動」こそロータリー発展の最大貢献者であり、今後戦略計画実施への大きなヒントになると確信する。色々な意味で直接対面での意思疎通は何事にも変えがたいお金のかからない広報宣伝戦略であろう。(第3ゾーンARPIC 伊藤文利 倉吉RC)

■ クラブ数 会員数

Zone 1	829	28,680
Zone 2	652	28,158
Zone 3	790	32,745
合計	2271	89,583

2017年4月10日現在のClub Centralのデータです。

第2ゾーンの数値には GUAM, MICRONESIA, NORTH ERN MARIANS, PALAUが含まれます。

■ BOX登録件数

187件(1.2.3ゾーン合計)
2017年4月10日現在



第1図



第2図



第3図

この書は第2690地区米子市内4RCが市民に末永く鑑賞してもらうために共同購入したものである。





ハイライトよねやま 205

2017年4月11日発行
公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

寄付金速報 — 2016-17 年度も残り 3 カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べて6.6%減（普通寄付金0.7%増、特別寄付金10.3%減）、約8千万円の減少となりました。過去2年間、大口寄付が続いたため、今年度の寄付金はかなり減少しているようにも見えますが、7月～3月の累計額は、2010年度以降の同時期の平均額よりも上回っています。残りの約3カ月は、特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続き、米山記念奨学事業へのご支援をよろしくお願い申し上げます。

さまざまな寄付のカタチ — 学友からの遺言寄付 —



遺言によって、指定した個人や団体へ指定した資産を残すことを「遺贈」といいます。当会では2000年度から、遺贈によるご寄付に対応するため「遺言寄付制度」を設けて、事業へご賛同いただける方のご意志を募っています。大阪在住の米山学友で、元関西米山学友会会長の林小微さん（台湾／1983-84／和歌山東RC）は、2009年1月、学友として初めて遺言寄付を申請してくださいました。そして、今年3月に事務局を再訪し、2回目の遺言寄付を申請されました。

最初の申請の際は、寄付の事例として紹介することを固辞された林さんですが、今回は、「学友にもこのような制度があることを知ってほしい」との思いから、紹介することを了承してくださいました。



林さんからのメッセージ

奨学会からの資料を見て「遺言寄付」という制度があることを知りました。2008年に学友会の用事で米山事務局を訪問したついでに、学友はできないのか聞いてみたところ、「できるが、まだ例はない」とのことでしたので、「では、その第一号になりましょう」と申し出ました。主人の了解も得られたので、遺言寄付の申込書を提出し、今回は二度目の申込みをしました。これで頂いた奨学金に対して、ご恩の「倍返し」ができました。これから「10倍返し」できるよう、長生きしながら頑張りたいと思います。

2017 学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2017学年度の奨学生は795人となりました。新規採用者が615人、継続者が180人です（4月10日現在）。国・地域別にみると、中国が39.5%、次いでベトナム13.8%、韓国11.9%、台湾5.0%の順となっています。ベトナムは2009学年度以降、台湾を抜いて3番目に奨学生数の多い国として著しく増加していましたが、今年は、韓国を抜いて2番目に多い割合を占めています。プログラム別では、学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金が747人（学部課程：292人、修士課程：265人、博士課程：190人）、地区奨励奨学金15人、クラブ支援奨学金2人、海外学友会推薦奨学金6人、海外応募者対象奨学金25人となっています。

4月～5月にかけて各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは初めて学生とカウンセラーが出会う場であり、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。よろしくお願いいたします。

タイ米山学友会が創立 5 周年の総会を開催

タイ米山学友会の年次総会が 3 月 18 日、バンコク市内で開かれました。前国王の喪に当たり非公開での開催でしたが、学友 21 人とその家族のほか、学友会と親交のあるタイ、日本のロータリアンも出席し、総勢 41 人の親睦の集いとなりました。

2012 年の学友会創立を支援し、毎年の総会に欠かさず出席しているピチャイ・ラタクル元国際ロータリー会長からは、「皆の活動は、間違いなく日タイの友好



関係につながっています。米山梅吉翁の期待通りに社会貢献に励む姿に感心し、誇りに思います。これからも同じ考えの学友を増やして集い、良い活動が続けられるよう応援しています」との温かい言葉が送られました。シュティカーン・テブサン会長は「今後も皆さまの励ましをもとに、学友の皆と一緒に頑張っていきたい」と、力強く語りました。総会後は、全員で食事を楽しみながら、各国の学友会訪問時に贈られた記念品や学友からの提供品などのオークションが行われ、盛り上がりしました。売上金はすべてニコニコボックスに納められ、次の社会貢献活動に活用される予定です。

地区研修・協議会用に米山の資料をお送りします

地区研修・協議会でお使いいただける米山記念奨学会の資料を、3 月 23 日～4 月中旬にかけて全地区へ発送しました。今年が目玉は、この 3 月に完成したばかりの人気シリーズ、『米山学友の群像 vol.5』！さまざまな分野で活躍する学友が目白押しです。ぜひご活用ください。

< 下記資料をお送りしています >

- ・豆辞典（クラブ数×1 部＋予備 20 部）
- ・米山学友の群像 vol.1.5（同上）
- ・クラブ米山奨学委員長の手引き（同上）
- ・DVD「ひろがれ！人づくりの輪」（説明者用 1 部）
- ・「米山記念奨学会 DVD シリーズのご紹介」チラシ／申込書（説明者用 1 枚）



モンゴル米山学友会 総会のご案内

日時：2017 年 5 月 14 日（日）10:00～

会場：ウランバートル市 TUUSHIN ホテル

連絡先：nbolormaa211@gmail.com（幹事：ボロルマー）

※なお今年は、初代会長ジャンチブ・ガルパドラッハさんが所属するフレール C（第 3450 地区）

創立 15 周年記念式典が、前日の 13 日（土）に開催されます。



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

E-mail：highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL：http://www.rotary-yoneyama.or.jp/
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

米山梅吉記念館便り

シリーズ⑨ 米山梅吉の横顔

米山梅吉の青山学院への奉仕は大正5年頃には既に見られますが、何と言っても青山学院初等科の創立で、米山の、整備拡充よりも初等教育の充実を重視する教育論の実践でした。昭和12年に竣工した校舎は全額私財を投じて建設されたもので一切の寄付は仰ぎませんでした。学院が直営の予定でしたが許可が難航し、青山学院小学財団を設立、同財団立「緑岡小学校」として発足しました。男女25名づつが入学し、初代校長は米山でした。経営方針は7条あって、「学校後援会、保護者会等の支援団体は認めない」「児童の教育は学校の手によって行う。学校を信じて委されたい」「人にされて嬉しかったことを人にもせよ」等でした。



青山学院緑岡初等学校正門と校舎



記念館の月桂樹前にポール・ハリス植樹レリーフを設置
昭和10年来日の折、ポール・ハリスが月桂樹を帝国ホテル前庭にお手植えし、記念館にはその2世が植えられています。

公益財団法人 米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

TEL:055-986-2946 FAX:055-989-5101

URL <http://yoneyama-umekichi.jp>

Email:yumh@ai.tnc.ne.jp

【開館時間】午前10時～午後4時

【休館日】月曜日/12月28日～1月4日/整理のための休館日(5月・8月の特定日)



米山梅吉関連図書の紹介



B5判 記念館35周年記念誌
本文268ページ/2,500円

米山梅吉の聲音 記念館刊

米山梅吉の「生い立ちと人となり」「ロータリーとのかわり」「記念館の歴史」などが詳細に解説されています。

資料編としては、米山梅吉の会議や大会での挨拶や講演、ロータリー月報やラジオ放送の内容なども掲載。記念館所蔵の図書目録、年表など網羅されています。

文庫通信 (356号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近のロータリー情報から

◎「ロータリーと茶の心」		千 玄室	2017	4p	(D.2690地区大会記念誌)
◎「日本ロータリーの昔話4～7」	深川純一	伊丹R.C.	2016	4p	(純ちゃんのコーナー-PartXV)
◎「日本のロータリアンの使命」		塚原房樹	2016	2p	(D.2510月信)
◎「ロータリー会員から真のロータリアンへの進化」		三木 明	2016	1p	(D.2680月信)
◎「ロータリアンにとって『職業奉仕』とは」		藤林豊明	2016	2p	(D.2580地区大会記念誌)
◎「ロータリーの魅力とは何だろう」		富田英壽	2017	2p	(D.2700月信)
◎「RIの向かっている道（三つの側面を通して）」		桑月 心	2017	2p	(D.2630月信)
◎「今までの100年・そして現在」		久世晴雅	2016	4p	(D.2680地区大会記録誌)
◎「会員を引き込む」		RLI日本支部	2015	3p	(RLI参加者テキスト)
◎「ロータリー財団を正しく理解する」		鈴木一作	2016	5p	

〔上記申込先：ロータリー文庫〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3階 TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp> 開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日